

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ GIKAI

No.200

令和5年

5



3月定例会議「教えて！新年度予算」ほか	2～7
一般質問「下川のここが聞きたい」2名の議員が登壇	8～10
脱炭素推進調査・広聴広報特別委員会結果報告	11
1月・2月臨時会議、小中学校議場学習発表会、文書質問	12～15
議会及び議員の活動目標と評価を公表します	16～17
議会活動の仕組み⑦、編集後記ほか	18

表紙の写真 「カーボンオフセット証明書交付式」より

しもかわ議会だより

3月定例会議 3/6~16

3月定例会議のあらまし

3月定例会議は、3月6日から16日までの11日間開催しました。

町長による予算編成方針演説、教育長による教育行政執行方針演説に引き続き、町から、条例改正、補正予算、新年度予算などが提案され、全て原案可決しました。

下川町議会の個人情報保護に関する条例の新規制定のほか、議会基本条例の一部改正など、議員提出の会議案3件を全会一致で可決し、下川町議会脱炭素推進調査特別委員会と議会広聴広報特別委員会の結果報告を行いました。

一般質問では、2人の議員が町長に考えを問いました。

令和5年度各種会計予算 予算の使い道が決まりました

一般会計予算

52億9,700万円【対前年度比1.0%増】

下水道事業特別会計

3億7,963万円【対前年度比0.9%増】

簡易水道事業特別会計

15億1,306万円【対前年度比172.6%増】

介護保険特別会計

8億4,878万円【対前年度比0.9%減】

国民健康保険事業特別会計

4億8,972万円【対前年度比9.4%減】

後期高齢者医療特別会計

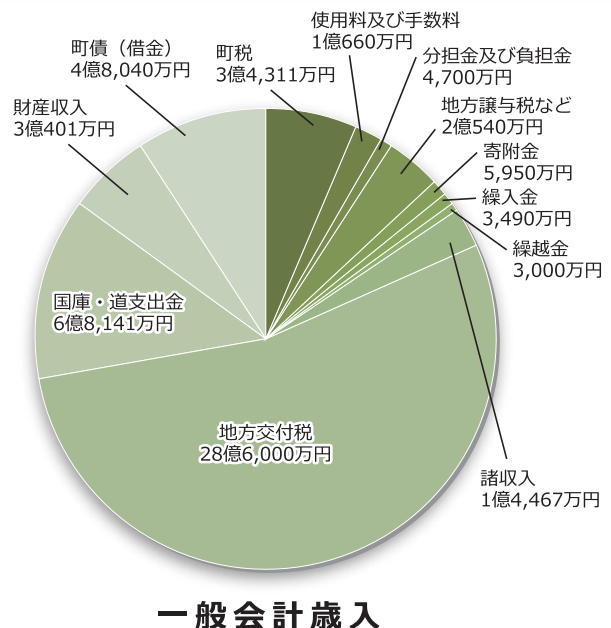
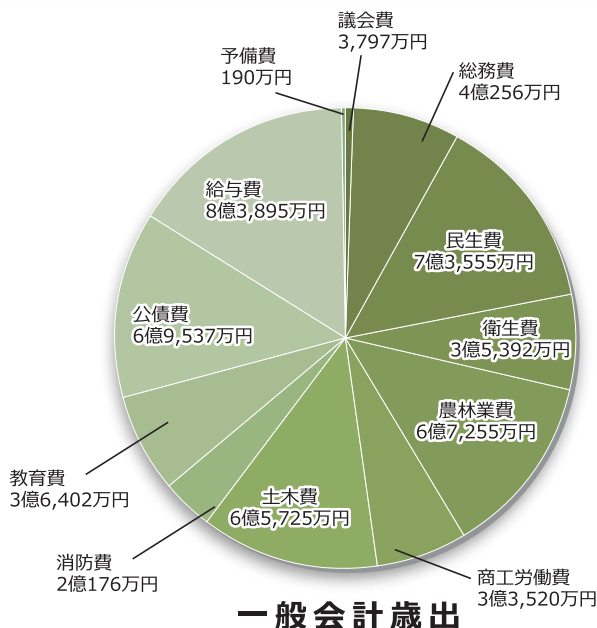
6,577万円【対前年度比1.5%減】

病院事業会計

6億2,955万円【対前年度比1.5%増】

総額

92億2,351万円【対前年度比11.6%増】



予算の主な使われ方

主要事務事業の概要

ふるさと納税促進事業

ふるさと納税の促進に向けて、外部委託によるプロモーションの充実、返礼品開発、配送管理などを行う

除排雪車両購入事業

冬期間における安全で快適な道路交通を確保するため、経年劣化した除雪車両（除雪ドーザ）の更新を行う

ゼロカーボン推進事業

2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティしもかわ」の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素排出削減に向けた調査や取り組み、普及啓発活動を推進する

有害鳥獣捕獲従事者確保事業

捕獲従事者の担い手を確保（地域おこし協力隊制度活用）し、野生鳥獣被害の予防につなげる

農業振興事業

フルーツトマトの半養液栽培に係る資材費のほか、IoT技術を取り入れたスマート農業を推進するため、施設園芸に設置する環境制御装置及び灌水ナビの導入経費を支援する

危機管理対策事業

災害時に要援護者が迅速に避難できるための支援体制を整えるため、避難行動要支援者個別計画を作成する

公営住宅整備事業

- ・元町団地建設
1棟5戸
- ・末広団地駐車場整備

快適住まいづくり促進事業

快適な住環境を確保するため、住宅の取得・改修・解体などに対して補助を行う

中小企業振興事業

中小企業振興対策として、経営基盤強化、起業化促進、事業承継などに対して補助を行う

下川浄水場整備事業

下川浄水場の更新に向けた建設工事などを行う（浄水場建設、送水管敷設など）

下川浄化センター整備事業

ストックマネジメント計画に基づき、浄化センターの汚泥処理設備の改修を行う（ポンプ、制御盤など）

G I G Aスクール構想事業

G I G Aスクール構想を推進するとともに、I C T支援員による学校のI C T環境を推進する

令和5年度各種会計予算については、予算審査特別委員会へ付託され、3月9日・10日・13日の3日間で審査を行いました。予算審査の冒頭では、副町長より、「令和5年度は、統一地方選挙の年であり、骨格予算編成となるが、本町の特性を活かした産業の振興、町民生活の安全・安心の確保、町民福祉の向上などを念頭に、第6期総合計画に掲げる「2030年における下川町のありたい姿の実現」と財政運営基準である「基礎的財政収支（プライマリーバランス）」の黒字化を目指し、「第6期総合計画の着実な推進」「効率的で効果的な行財政運営の推進」「積極的な情報公開と町民の理解」「働き方改革とデジタル化の推進」を基本方針として、予算編成を行ってきている。

政策予算は、改選後に補正予算で計上予定であるが、町民の暮らしに支障が出ないよう新規事業を一部計上しながら継続事業を中心に編成しており、基本的に骨格予算編成としている。

予算執行に当たっては、各種補助金などの財源確保に努め、最終的な基金繰入金は可能な限り抑制するよう努力し、年度末により多くの基金を確保していきたい。」との説明がありました。

その後、所管課ごとに推進施策、事業概要などの説明を受けながら審査を行い、最終日には理事者に対し総括質疑を行いました。（予算審査特別委員会の内容については4～5ページに掲載しています。）

教えて！新年度予算

令和5年度予算の主な審査意見など

令和5年度の予算事業施策、委員会審査の質疑・意見などについて主なものを掲載します。

行政改革大綱

(問) 行政改革大綱を令和4年度に策定すると約束していたが、なぜできないのか。

(答) 現状では年度内につくるのは困難で、新年度に第9次大綱を策定することになる。

危機管理対策事業

名簿をもとに個別計画を作成する。

(意見) 消防団がハザードマップで水浸しになる地域の戸別訪問をして、自力避難できるかを確認したので、計画作成の際には参考にすべきである。

庁舎維持管理

(意見) マイクを使用して

会議を行う環境整備と自働書き起こしシステムの導入は、議事録作成などの利便性を高め、DX推進や職員の働き方改革の観点からも早急の実施すべきである。

町史情報整理事務

担い手が確保できず着手できていない。令和5年度も予算計上していない。

一の橋バイオビレッジ

駅カフェは、新しい体制で運営が始まっている。

(意見) 設置目的を踏まえ、住民に理解が得られるよう適切に運営すること。

指定ゴミ袋

(問) 指定ゴミ袋のバラ売りは可能か。

(答) 要望があれば検討の余地があり、実施可能である。

福祉・医療人材募集

(問) 情報更新が滞っているのではないか。

(答) 福祉・医療人材募集ポータルサイトの情報が古くなっており、随時更新していきたい。

山びこ学園

定員50名だが、現在は41名が利用している。

(意見) 町の直営を堅持する方針であれば、現状に合った定員にするための検討を早急にすべきである。

あけぼの園

ICT化に伴い、介護職員の労働軽減が図られている。

(意見) 労働環境の改善が図られたことを、人材募集の際に強く発信すべきである。

除排雪車両購入事業

納車まで時間がかかるため、除雪車両の購入費用を当初予算に計上した。

(問) 全面委託のになせ町が購入するのが

(答) 購入に補助金も入るので、業者が購入するよりは有利になる。

(意見) 既存車両の処分については、払い下げを希望する町内事業などの有無を把握して、払い下げを行うべきである。

文化財保護事業

3施設(ふるさと交流館、札天山資料館、旧菱光小学校)をどうするか課題である。文化財以外の収蔵品の還元や、不用品の処分が課題となっている。

(意見) ふるさと交流館の展示品については、テーマ別に札天山資料館に集

中展示することを検討するほか、ふるさと交流館を移住者などの交流スペースとして有効活用することも検討すべきである。

林業・林産業の人材確保

(問) 北の森専門学院からどうすれば下川に就職してもらえるのか。

(答) 住環境を整え、部屋を用意できれば興味を持つてもらえるかと考えている。

農産物加工研究所

運営の民間移行は1年延期して、令和6年4月を目指す。

理事者総括質疑

所管課からの説明および質疑に続き、次の項目について理事者への総括質疑を行いました。



予算 審査特別 委員会

委員会審査：3月9、10、13日（3日間）

委員長：我孫子洋昌議員、副委員長：春日隆司議員

公営企業会計を適用するにあたっての水道料金について

令和6年度の給水開始に向けて下川浄水場を整備している。一の橋は水道施設改修を実施する予定である。将来必要となる費用を明確にするため企業会計の準備を進めている。町民の合意形成を図る必要があるが、令和9年度からの料金改定を予定している。

（意見）一の橋の給水の状況について、施設の改修計画や給水場所について議論が必要である。市街地と料金が同じという料金体系についても慎重に扱うべきである。

（町長）国から一定程度指導を受けながら進める必要がある。時間をかけながら情報収集して協議をしたい。早い時期に着手しないといけない。

循環型森林経営について

各賞の受賞や表彰は、50歳×60年という数字のみでなく、下川町の文化と歴史も評価されたものである。数字はあくまでも目標であ

り、旗印である。木質バイオマスボイラーや雇用創出、FSC森林認証、カーボンオフセット、スマート林業の推進、森林環境教育の推進による人材育成、木炭・木酢液によるゼロエミッションなどにより受賞したものと考えている。

（意見）地元は理解しているかもしれないが、他はそれで認定されていると思っている節がある。旗印ならそれで、数値的な目標は、今後は控えないとならない。

（町長）そこだけがクローズアップされた。今後は気を付けないといけない。ただ、60年間続いてきたという歴史がある。そこだけが評価されたわけではないことを理解してほしい。

小中学校のあり方について

一クラスに20名いないと高校や社会人になると困ると思っている。学校運営協議会でも論点を持ってもらえるように動きたい。

（質問）義務教育学校を設置するのは何年くらいか

かるのか。
（教育長）児童が減少して併置校になる前に義務教育学校にしたケースがある。下川の現状からすると10～15年先には併置校となるだろう。

本委員会として、次の意見を付しました。

○予算編成方針と事業施策、予算の関係について整合性をとるべきである。

○町史編さん作業は既に遅れが生じており、早急に体制を整えて取り組むべきである。

○循環型森林経営を町外への情報発信する際には、誤解を生じないよう現時点の状況も併せて情報開示に努めるべきである。

○下川町のまちづくりは、国の政策に遅れないようにと、情報を把握して進めてきた経過があり、補助メニューがなければ進まないところがあつたが、何でも飛びつかないで選

択して実施すべきである。
○小中学校については、他の町の取り組みが進んだ後にやるのか、やらざるを得ないのかといった状況にある。児童生徒数を考えて、今後校舎をどうするか、教育委員会が主体的に調査、検討を進めるべきである。

○ふるさと交流館は、教育委員会だけのアイデアだけでなく、利活用について町民から広くアイデアを募集するべきである。



理事者への総括質疑の様子



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 149分
5:26 予算編成方針
42:43 教育行政執行方針
1:14:39 議案上程

3月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和5年3月6日～3月16日）①

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結 果	齊 藤 好 信	中 田 豪 之 助	大 西 功	春 日 隆 司	我 孫 子 洋 昌	菖 谷 春 之	小 原 仁 興	近 藤 八 郎	議 決 日
<input type="checkbox"/> 下川町公営住宅管理条例の一部を改正する条例		可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	3月6日 ※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。
<input type="checkbox"/> 下川町営住宅使用条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 下川町国営土地改良事業負担金等徴収条例を廃止する条例		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 下川町国民健康保険条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 下川町道路線の廃止について		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 下川町道路線の認定について		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町下水道事業特別会計補正予算（第5号） 補正額：△4,540万円 補正後の額：3億3,365万円 補正内容：事業費の確定に伴う施設管理費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町簡易水道事業特別会計補正予算（第7号） 補正額：△3,824万円 補正後の額：5億1,818万円 補正内容：執行見込みによる建設事業費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町介護保険特別会計補正予算（第3号）（介護保険事業勘定） 補正額：△2,082万円 補正後の額：5億9万円 補正内容：執行見込みによる保険給付費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町介護保険特別会計補正予算（第3号）（介護サービス事業勘定） 補正額：483万円 補正後の額：3億9,104万円 補正内容：執行見込みによる一般管理費の増額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 補正額：△6,824万円 補正後の額：4億7,514万円 補正内容：執行見込みによる保険給付費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号） 補正額：△202万円 補正後の額：6,393万円 補正内容：執行見込みによる納付金の増額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 環境保全の状況と施策について		報告済	-	-	-	-	-	-	-	-	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町一般会計補正予算（第10号） 補正額：△1億1,431万円 補正後の額：55億3,591万円 補正内容：指定寄付金の見込みによる減額 など		可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町病院事業会計補正予算（第4号） 補正額：病院事業収益 △2,627万円 補正後の額：5億905万円 病院事業費用 371万円 補正後の額：5億8,424万円 資本的収入 50万円 補正後の額：4,352万円 補正内容：入院・外来患者数の予定量に対する減少等による減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/> 下川町いじめ防止対策推進条例の一部を改正する条例の撤回について （上記条例は3月6日に総務産業常任委員会へ付託し審査）		承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	3月14日



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 127分
 2:46 委員長報告 (総産)
 11:02 委員長報告 (予算)
 59:16 議案上程

3月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和5年3月6日～3月16日）②

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠	結果	齊藤好信	中田蒙之助	大西功	春日隆司	我孫子洋昌	蓼谷春之	小原仁興	近藤八郎	議決日
<input type="checkbox"/> 下川町農業委員会の委員の定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○		3月16日 ※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町一般会計予算 予算額：52億9,700万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町下水道事業特別会計予算 予算額：3億7,963万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町簡易水道事業特別会計予算 予算額：15億1,306万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町介護保険特別会計予算 予算額：4億8,931万円（介護保険事業勘定） 3億5,947万円（介護サービス事業勘定）	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町国民健康保険事業特別会計予算 予算額：4億8,972万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和5年度下川町後期高齢者医療特別会計予算 予算額：6,577万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町病院事業会計予算 予算額：6億2,955万円	"	○	○	○	○	○	○	○		
△ 下川町議会基本条例の一部を改正する条例	"	○	○	○	○	○	○	○		
△ 下川町議会の個人情報の保護に関する条例	"	○	○	○	○	○	○	○		
△ 下川町議会会議条例の一部を改正する条例	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 下川町個人情報の保護に関する法律施行条例	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 下川町情報公開・個人情報保護審査会条例	"	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 下川町いじめ防止対策推進条例の一部を改正する条例	"	○	○	○	×	○	○	○		
<input type="checkbox"/> 令和4年度下川町一般会計補正予算（第11号） 補正額：4,000万円 補正後の額：55億7,591万円 補正内容：企業版ふるさと納税の寄付による寄付金の増額 など	"	○	○	○	○	○	○	○		
△ 下川町議会脱炭素推進調査特別委員会結果報告	報告済	-	-	-	-	-	-	-		
△ 議会広聴広報特別委員会結果報告	"	-	-	-	-	-	-	-		



ことば

とくべつ いんかい
 特別委員会・・・ 常任委員会とは異なり臨時特定のことがらについて設置され、予算、決算、基本構想などの審査、地域開発などの調査のために設置されることが多くあります。

下川のここが聞きたい 一般質問

3月定例会議では2名の議員が一般質問を行いました。
町のさまざまな課題などについて、議員が町に考えをたずねる「一般質問」。
質問方法は『一問一答方式』です。(下記参照)



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員
(9ページ)



(動画時間) 25分

(質問事項)

- 福祉・子育て施策と計画のあり方、および町職員の人材獲得・育成について

(質問要旨)

谷町長が次期町長選挙への不出馬を表明され、転換期を迎える下川町において、町民一人ひとりが安心して生活を営み、次世代を担う子供たちが将来に向けて希望を持てる町政、教育行政のあり方について伺いたい。

- (1) 高齢化が進む下川町において、高齢者が安心して住み続けられるように、また、少子化が進む下川町において、子ども一人ひとりを大切にするために、ハード、ソフトの両面から継続的な支援施策を展開する必要がある。そこで、介護福祉や子育てに関する行政計画のあり方について伺いたい。
- (2) 多様な町民ニーズや、社会情勢の変化に迅速に対応していくには、町職員の資質向上が継続的に必要である。また、働き方改革や役場の仕事のブランディングなど、人材獲得競争に勝ち残っていく長期戦略が必要であるが、町はこれまでどのような考えで取り組んできたのか、今後も活かせる戦略や人材育成ノウハウを有しているのかを伺いたい。



かすが たかし
春日 隆司 議員
(10ページ)



(動画時間) 61分

(質問事項)

- 谷町政8年間を振り返り、学ぶことは何か

(質問要旨)

下川町は、「将来世代のニーズを損なうことなく現在の世代のニーズを満たす」SDGs(持続可能な開発)を標榜している。そこで、SDGsの視点に立って、この8年間を総括し、学び、今後に活かしていかなければならない。そこで、次の点について伺いたい。

- (1) 8年前、谷町政は、日本のモデルとなった町を引き継いだか、この8年間で、それがどのような姿に変貌したのか。
- (2) この8年間で解決しなければならないことを、次の世代へ先送りしていないか。

※質問番号順



【YouTube】 QRコードを読み取ると各議員の一般質問の映像が見られます。

- ・ 質問と答弁を要約して掲載しておりますので、詳細につきましては、下川町ホームページにある本会議会議録をご覧ください。
- ・ 一般質問を録画したDVDを町民会館図書室で貸し出しを行っています。
- ・ 下川町ホームページ(本会議会議録)はこちらから
※公開には一定の期間を要することがあります。



ことば

いちもんいっとうほうしき
一問一答方式… 1つの質問ごとに理事者が答弁を行います。質問回数に制限はなく、質問時間は一議員1時間を限度としています。



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

子どもひとりひとりを大切に する施策、高齢者が安心して 住み続けられる施策が必要では

町長 町民の要望や各種委員会の意見をもとに
計画を策定し、施策を推進したい

高齢者福祉・子育て施策 と行政計画

質問

少

子高齢化が進む下川町において、高齢者が安心して住み続けられるように、また、子ども一人ひとりを大切にするために、継続的な支援施策が必要です。そこで、福祉や子育てに関する行政計画のあり方について伺います。

町長 本町の高齢化率は2月末で40.1%であり、ここ数年、ほぼ維持しています。また、子育てに喜びを感じることができると地域社会の構築が求められる中、地域保健福祉計画を中心に、各分野で多岐にわたる施策を講じております。行政計画は、町民の皆様の要望や各種委員会の意見をもとに策定し、推進したいと思えます。

再質問

高齢者が人生の最終段階をどう迎えるか、介護・医療、家屋や家財道具、さらにはお墓をどうするかといった課題があると伺っています。また、下川町の

子育て支援策も一定の評価は受けていると思えますが、「誰ひとり取り残されないまち」を目指すのであれば、それぞれの課題について各世代から、また個々から聞き取りを進めて十分な手立てを講じるべきです。

町長

特に医療関係で厳しい事案に直面しています。町立病院の外来患者数が減少したので外科医師を未設置にしなければなりません。また、歯科医院が廃業して住民の皆さんは非常に不便を感じる、といったことがどんどん起きています。子育て環境をしっかりと作っていく上では、社会全体で子どもたちを見守り育てていくという取り組みが今後更に必要になるのではないかと思います。そのようなことを念頭に置きながら計画を立て、政策を立案執行することが不可欠だと考えます。

再質問

子どもの成長という点から、認定こども園には、教育委員会もより深く関わるべきです。

教育長

教育委員会と保健福祉課は、学校経営研究協議会で認定こども園の園長、小中学校の校長、教頭と情報交換を行っています。

再質問

子どもに関する情報共有をしていることを告知して、保護者の理解を得て施策を推進すべきです。

町職員の人材獲得・育成

質問

多様な町民ニーズや社会情勢の変化に迅速に対応していくためには、町職員の資質向上が継続的に必要です。また、人材獲得競争に勝ち残るための長期的な戦略が必要になると考えます。

下川町はどういった考えで取り組んできたのか。また、今後も活かせる戦略や人材の育成ノウハウなどがありますか。

町長

町では循環型森林経営や、SDGsを基本とした持続可能な地域社会実現のため、各種計画の策定や様々な事業に取り組んで

ました。このような取り組みが、本町で採用を希望される多くの方の志望動機となつていきます。人材育成については、職員研修計画に基づき、職員の年次に応じた各種研修のほか、町の独自研修、職員の自主参加研修、国の機関などへの派遣研修を実施しています。今後も研修の時期や内容を適切に判断して、人材育成が図られるよう進めたいと思えます。

職員が長く勤務しているかどうかも、これからの人材獲得のうえで大きな要素になるのではないのでしょうか。

再質問

町長 人口減少の中でも多様な社会、世代バランスが良い地域づくり、共生型社会で持続可能なまちづくりが下川町の今後めざす大きな理念ではないかと思えます。この後の方々、本町の職員の方にもそういう意識で、まちづくりや政策形成をしていただきたいと思います。

「幸せ日本一」を目指し、 町長は8年間幸せであったか

町長 幸せ感があった



かすが たかし
春日 隆司 議員

谷町政8年間の総括

質問

この8年間、町長は幸せでしたか。

町長 幸せ感があったと感じています。

再質問 2年間遅れ、策定の約束であった行政改革はなぜ出来なかったのでしょうか。

町長 次の方に期待します。

再質問 策定するとしていた温暖化計画もなぜ策定出来なかったのでしょうか。

町長 しっかりと計画を立てるため先送りしました。

再質問 除排雪費がこの8年間でなぜ3倍になったのでしょうか。近隣でも2倍です。

町長 予算措置して、お金はあるだけ使う。執行者の責任ではないです。

町長 町単価が非常に低いので道単価に準じました。そこで単価の上昇がありました。

再質問 循環型森林経営というのが飛び交いますが、造林は4年間で48畝です。主伐は140畝くらいです。成長量以上に伐採しました。

町長 どんな施策も100%はないです。

再質問 この4年間人口は、

255人の減。うち4人に3人が子ども、子育て世代です。

人口対策がなされず、人口動態に影響し、3,000人を切ることに影響は今後出ます。

町長 新たな政策形成に期待します。

再質問 この8年間で庁舎内の3人に1人が退職しました。

町長 今後、職場の環境改善が求められます。

町は8年間で衰退、後退

質問 人口も職員もどんどん出て行っていったのが実態です。

町長 長年の循環型の森林経営から、色々な取り組みを行い蓄積された政策効果や地域の魅力づくりが、平成26年度で結実され、日本のモデルに押し上げ、平成27年のSDGsアワード受賞となりました。その余韻で4年間経過し、魅力づくりや政策の取り組みが来ず、町は衰退、後退をしました。この8年間で前進、進化したのであれば説明をいただきたいと思います。

町長 8年間で政策形成は非常に乏しいものがありました。様々な施策展開をして、

そして成果を上げてきたと思っっています。

客観的評価

質問

谷 町長前の平成26年の住民アンケートでは、住みよい町と答えた人は79%、今回4年度は69%です。住みよい町と答えた人は9%であつたものが16%に上がりました。町外に移りたいという人も11%が22%に上がりました。これが客観的評価です。

町長の政治公約では、住み続けたい町という結果にはならなかつたです。

町長 行政としてどこまで課題解決をしていくことができるのか、職員の施策形成や首長の政治手腕を期待します。

町長 町長が政治生命をかけた8億2,000万円のバイオマス熱供給熱導管事業は、余剰熱の実態からすると本当にやらなくてよかつたです。

町長 否決され大変残念な思いをしました。企業誘致の一つにも繋がりました。

再質問 企業誘致ではありません。言葉が一人歩きすることが8年間続いてきました。議会は本当に賢明な判断をしました。町長は、町の二分解消のために努力されたことはあります。

町長 二分という考え方はしていません。

再質問 8年間、議案否決・修正・取下げが多くありました。議案が荷崩れ状態でありました。提案する人の責任も多大です。町長は議会も長年経験されているので振り返つての思いはどうですか。

町長 政策形成能力の高い議員が増えたことに尽きます。

町史へのコメント

質問 谷町政の8年間を振り返り町史に記載されるとした場合のコメントはありますか。

町長 一生懸命やってきたという事に尽きます。

再質問 先人が築いたものを望ましい姿にして、町民と職員が一丸となって下川が永遠に続くことをご祈念申し上げます。



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 127分
1:32:03 委員長報告(脱炭素)
1:38:50 委員長報告(広聴広報)

結果報告は
こちらから



下川町議会脱炭素推進調査特別委員会は、令和3年下川町議会定例会3月定例会議初日において、町が「ゼロカーボンシティ」もかわの宣言を行い、同定例会議において議会も「ゼロカーボンシティ」もかわ宣言の推進に関する決議を行ったことから、実効性のある脱炭素社会を実現できるよう推進・調査するため、令和4年3月18日に設置しました。

下川町議会脱炭素推進 調査特別委員会 経過報告

◆調査結果

当初、下川町地球温暖化対策実行計画の策定は、令和5年3月に計画案報告の予定であったが、令和5年6月頃になるとのことであった。

第6回特別委員会では、さらに遅れ7月頃になるとのことであったため、今定例会期中に実行計画に関しての結論は出ないものと判断したところである。

以上のことから、実行計画の策定に際して、さらに住民参加による議論を深めていただき、SDGs 未来都市しもかわに相応しいよりよい実行計画の策定となるよう望むものである。

令和4年下川町議会定例会5月臨時会議において、「下川町議会における脱炭素(ゼロカーボン議会)の行動指針に関する決議」を採択したところである。

議会活動における二酸化炭素の排出量の削減に努め、削減できなく排出してしまう二酸化炭素については、北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会が保有するオフセット・クレジット(J-VENER)により相殺して、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン議会」を進めてきた。その結果、令和4年5月から令和5年2月までの電気使

用量における二酸化炭素排出は、283 kg・CO₂会議などにおける交通利用での二酸化炭素排出量は、3,735 kg・CO₂となったところである。

しかし、オフセットの実施には、令和4年下川町議会定例会の全会期中を対象とすることが決議の趣旨にも適うものであることから、今後の3月及び4月の活動を排出予定量として、電気及び交通利用を合わせて、225 kg・CO₂と見込み、会期中の合算は、4,243 kg・CO₂と積算するものである。従って、クレジットとして購入する会期中の議会活動による二酸化炭素排出量を5t・CO₂としたところである。

これら排出された二酸化炭素(予定量を含む)については、カーボン・オフセットを3月14日付けで行ったところである。

以上により、下川町議会における議会活動の二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする活動が実践できたものである。



議会広聴広報 特別委員会 結果報告

◆活動結果

これまで、議会だよりを合計15号発行、井戸ばた会議を4回、議会だより発行に関する会議を25回開催し、議会モニターや高校生モニター、井戸ばた会議での意見なども参考に、紙面や活動内容を充実させるべく、検討を繰り返して進めてきた。

この間、コロナ禍もあり十分な意見交換の場を設置するには至らなかった。しかし、メールやファックスを活用したご意見募集を試験的に実施し、新たな意見交換の場として更に調査研究を行う必要がある。

井戸ばた会議は、参加者数が伸び悩んでいるため、名称の変更や運営方法を検討する時期にきている。

本会議の録画配信は、ほぼ即日にYouTube上で公開することができ、ライブ配信に準じた取り組みができた。

令和4年下川町議会定例会3月定例会議において、これまでの活動の結果報告をいたしましたので、その内容を掲載します。全ての結果報告については、町のホームページにアクセスするか、次のQRコードを読み取ると見ることができます。

結果報告は
こちらから



第15回井戸ばた会議の様子

1月臨時会議 1/13

◆町道除排雪事業などに係る補正予算を原案可決

1 月臨時会議では一般会計補正予算（第8号）が提案され審議を行いました。

主な補正内容は、土木費では町道除排雪事業に係る経費、教育費では小学校施設改修事業に係る経費となっており、歳入歳出それぞれ6,313万円を追加し、総額を56億1,959万円とするものです。

議員からの質疑では「12月の大雪の除排雪作業にどのくらい費用がかかったのか」に対し「除雪排雪併せて約1,220万円となっている」「目的基金を使うための計画があるのか。トイレ改修は1か所だけなのか」に対し「その他の財源と全体のバランスを取りながら取り崩しなどを決めている。主に生活をするフロアのトイレを1か所改修する」との答弁がありました。

1月第2回臨時会議 1/20

◆議決に付すべき工事請負契約の変更を原案可決

令和4年下川町議会定例会6月定例会議において議

決した下川浄水場送水管敷設工事について、設計変更に伴い、工事請負金額を1億7,919万円から5億7,919万円から5億7,900万円を減額し、1億7,361万4,100円と変更するものです。

議員からの質疑では「この事業は補助事業であって、この議案の議決の時期などは問題がないという認識か。今後も問題が生じることはないか」に対し「問題ないと認識している」との答弁がありました。



1月臨時会議（本会議）の様子

その後採決に移り、全員賛成により原案可決しました。

2月臨時会議 2/13

◆下川町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を修正可決

下川町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例は、町長の3月分給料を20パーセント減額し、現行の730,000円を584,000円とするものです。

この減額は、旅費の重複支給などにあたり、責任を明確にするため提案されました。議案は、総務産業常任委員会に付託し審議を行いました。

委員会審査の質疑では、

「20パーセント減額することであるが、その20パーセントの根拠は何か」に対し「根拠はない。町長が決めた」との答弁がありました。その後の委員間討論では、20%が妥当であるか否かが議論となり、根拠が明確ではないところで意見が分かれました。

これらの審査を踏まえて、総務産業常任委員会では、「584,000円」を40パーセント減額の「438,000円」に修正することとし、今後、同様の事案については、特別職報酬等審議会などに意見を求めるなど、第三者の見解も聴取していくことも必要であるとの意見が付されました。

本会議の採決では、委員会の修正案に全員が賛成し、修正議決した部分を除く原案についても全員賛成で可決しました。



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 39分
3:37 議案上程

1月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和5年1月13日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結果	斉藤好信	中田豪之助	大西功	春日隆司	我孫子洋昌	蓑谷春之	小原仁興	近藤八郎	議決日
□	令和4年度下川町一般会計補正予算（第8号） 補正額：6,313万円 補正後の額：56億1,959万円 補正内容：町道除排雪事業に係る委託料の増額 など	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	1月13日



(動画時間) 19分
3:34 議案上程

1月第2回臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和5年1月20日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結果	斉藤好信	中田豪之助	大西功	春日隆司	我孫子洋昌	蓑谷春之	小原仁興	近藤八郎	議決日
□	議会の議決に付すべき工事請負契約の変更について （下川浄水場送水管敷設工事 契約金額(変更後)：1億7,361万4,100円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	※	1月20日



(動画時間) 30分
3:50 議案上程

2月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和5年2月13日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結果	斉藤好信	中田豪之助	大西功	春日隆司	我孫子洋昌	蓑谷春之	小原仁興	近藤八郎	議決日
□	下川町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	修正可決	○	○	○	○	○	○	○		2月13日
□	令和4年度下川町一般会計補正予算（第9号） 補正額：3,063万円 補正後の額：56億5,022万円 補正内容：出産・子育て応援交付金に係る児童福祉費の増額 など	可決	○	○	○	○	○	○	○		
□	令和4年度下川町下水道事業特別会計補正予算（第4号） 補正額：106万円 補正後の額：3億7,905万円 補正内容：電気料高騰による需用費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	○	※	
□	令和3年度下川町一般会計補正予算（第12号） 補正額：0万円 補正後の額：5億5,642万円 補正内容：電気料高騰による需用費の増額 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		

※議長は議事の進行を行うため、賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。



ことば

可決… 議案に賛成し決めることをいいます。提出された原案どおりに可決されることを「原案可決」といいます。原案を一部修正して可決されることを「修正可決」といいます。



総合学習の成果発表で小中学生が議場にきました

令 和4年12月21日に
下川中学校3年生

19名が総合的な学習の時間（森林環境・まちづくり）で学習した内容をまとめ、議場で発表しました。このような学習発表会などで議場を使用することは初めてのことになります。

下川町が令和3年3月に宣言を行った「ゼロカーボンシティしもかわ」の理念に基づき、「エネルギーの見える化」「再生可能エネルギー」「ものづくり・ファッション・交通」「食とゴミ」の4グループに分かれ学習をしてきています。

発表会には、近藤議長が出席し、町長や教育長、ゼロカーボン推進戦略室長なども同席しました。グループごとに10分ずつ発表し、それぞれに近藤議長などから感想がありました。

発表会の最後に、町長から「たくさん議論で

着眼点を設定し、短い時間で体系的にまとめ、具体的な方策を示している。感銘を受けた」と講評がありました。

令和5年2月20日には、下川小学校6年生24名が総合的な学習の時間において、これからの下川町のあるべき姿について、森林・福祉・多文化共生という観点から学習し、実践した内容を議場で発表しました。

発表会には、近藤議長が出席し、町長や教育長などが同席しました。チームごとに12分ずつ発表し、福祉チームでは考えたゲームや点字の体験も行いました。

最後に、町長、教育長、近藤議長より講評があり、様々な提言など大変貴重な時間となりました。



下川小学校「森林チーム」発表の様子



下川中学校議場入場の様子



令 和3年4月1日に施行された下川町議会基本条例により、議員は、通年議会を活用し、休会中（定例会議を開催しない月）においても主体的かつ機動的な議員活動に資するため、町政に関して、町長などに対し文書により質問を行うことができるようになりました。

2月（1月は質問休止月としています）は4名の議員から計6問の質問の提出がありました。今号では、2月に提出した質問と回答の一部を掲載します。全ての質問と回答については、町のホームページへアクセスするか、次のQRコードを読み取るで見ることができます。



令和5年2月 文書質問及び回答

- 1 質問者 近藤 八郎 議員
- 2 質問事項 下川商業高校生からの要望・意見について

質問の内容・要旨	回 答
<p>去る令和4年12月7日に、下川商業高校3年生が議会見学に訪れ、後日感想や意見を提出いただいた。寄せられた意見・要望などは、町内買い物環境や校内の施設設備に関するものなど多岐に渡っていた。</p> <p>そのうち、町の設備や施設などへの要望について、対応していくことも高校の魅力向上に資するのではないだろうか。そこで、町として対応可能か否かについて町の考えを示すべきだと考え、以下伺う。</p> <p>① 通学環境について</p> <p>バス停と高校の間の中央橋が狭いので、橋を拡幅することは可能か。また、中央橋から高校までの間の町道の勾配がきつく滑りやすいので改良できないか。</p> <p>② 町の施設について</p> <p>町内にゴミ箱を設置してほしい。コモレビなど、バスに乗車する前に投函できるようにゴミ箱の設置ができないか。</p>  <p style="text-align: center;">中 央 橋</p>	<p>① 中央橋は昭和41年に架設され、これまで補修工事・定期点検を行っておりますが、老朽化は進んでおり、拡幅した場合の荷重増加による橋脚などの耐久性・安全性を考えると、現状での改修は困難であると考えております。</p> <p>拡幅を行うためには橋の架け替えを行うこととなりますが、概算費用として3億5千万円程度と試算されていることから、現状では架け替えの予定はございません。今後、老朽化などにより、架け替えの必要性があると判断した場合には、幅員拡幅もふまえて計画していきたいと考えております。</p> <p>次に、中央橋から商業高校までの道路勾配についてですが、前提として、商業高校の位置（高さ）と橋の位置（高さ）及び、相互の距離は変えられないため、道路全体としての勾配を変えることはできませんが、局所的に急な箇所を緩和するための道路改良は可能であることから、現状を確認し、歩行者の通行に支障がある場合には、改良することも検討していきたいと考えております。</p> <p>また、冬期間における中央橋から商業高校までの通学区間の維持管理につきましても、小まめな除雪体制を整えるなど、通学に支障が出ないような対応を図っていきたいと考えております。</p> <p>② コモレビのゴミ箱は、利用者の利便を図るため建設当初より設置しておりましたが、近年、家庭ゴミの投棄などが相次いだことから、令和3年12月に撤去いたしました。</p> <p>バスターミナル及びバス待合所のゴミ箱についても、家庭ゴミの投棄の可能性があるため、管理上ゴミ箱の設置は考えておりません。</p> <p>施設を利用される方は、環境美化の観点から、ゴミのお持ち帰りにご協力いただきますようお願いいたします。</p>

議会及び議員の活動目標と評価を公表します

議会基本条例では、議会及び議員の活動内容を公表し、議会活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、自己評価し、その結果を1年ごとに公表することとしています。議会だよりでは、令和4年分の目標と評価の一部を公表します。全体につきましては、議会白書に掲載していますのでそちらをご覧ください。（令和5年5月下旬発行予定）

<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p> <p>議会活動の活性化に向け、町民、全員協議会、理事者対応、議員間討議における意見交換などを通じて各種会議における活発な審議を進める取り組みを行う。</p>	<p>下川町議会</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・町民との意見交換はコロナ禍もあり不十分な点があった。今後、他の先進事例を学ぶなど改善点を検討すべきである。 ・全員協議会は十分な議論はできたものの趣旨や位置づけをさらに徹底していく必要がある。 ・本会議においては、活発な質疑や討論のもとで審議を進めることができていると思うが、さらに充実した議論を追求すべきと考える。 	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p> <p>議会活動の参加意欲を高める環境整備（若者、女性の意見を反映するための有識者などから意見を聴取、議員定数、報酬などに関して議会諮問会議の意見を尊重）</p>	<p>こんどう はちろう 近藤 八郎 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>多様な人材の参加意欲を促す選挙費用の公費負担、女性議員の育児支援などが法改正により制度化された。議員定数、報酬問題などに対して議会運営委員会の検討結果に議会諮問会議から貴重な意見をいただき条例改正に至り今後の取り組みの第一歩となった。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p> <p>令和3年時の目標について改めて取り組みを進めて行く。人口減少、少子高齢化が顕著な本町であるが、だからこそやれる施策があるのではないか。高齢者が住み続けられる地域づくりと、子育てがしやすい支援体制、環境づくりである。これらの施策を充実させるための政策提案を行っていく。</p>	<p>さいとう よしのぶ 齊藤 好信 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>高齢者が住み慣れた地域で、住み続けられるまちを維持するために、施設の充実と環境整備の推進を目指していく。少子化のなか、子育て支援は人への投資という観点からも重要である。今後も切れ目ない子育て支援の拡充を推進していく。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p> <p>農業、林業を基礎とした産業の活性化、個人のくらしの安定、後継者・担い手育成に取り組む。</p>	<p>なかた ごうのすけ 中田 豪之助 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>二度の意見書提出など、農業には貢献できたと思うが、後継者・担い手育成は努力したが効果があったかどうかの確認は時間を要するため、今後とも取り組みを進める必要がある。</p>	

<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p>	<p>おおにし いさお 大西 功 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>昨年掲げた目標の自己評価の結果、やり切ったとは言いがたく、引き続き防災、除排雪を目標に掲げたい。町民が安心安全な生活を送れるように風水害に対応した防災意識の高揚と課題の共有に努める。</p> <p>昨年に引き続き、コロナ禍のため町民防災訓練など実践できていないが、町の防災マネージャー、消防署、消防団などと意見交換などをしながら課題の共有に努めたいと思う。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p>	<p>かすが たかし 春日 隆司 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>「下川は下川であり続ける」持続的なまちづくりを進める基盤として、根幹である産業、急激な人口減少阻止、町民のモヤモヤ感の払拭に力点を置いていく。</p> <p>目標に基づき活動をしてきた。厳しい現状認識は共有されてきたと思うが、これら対策を政策に結びつけることに対しては、認識を共有できなかった。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p>	<p>あびこ ひろまさ 我孫子 洋昌 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>人口減少社会、超高齢化社会を迎えている状況での持続可能なまちづくりについて幅広く情報収集し、町政に反映できるよう活動に取り組む。</p> <p>持続可能なまちづくりに関する諸課題についての情報収集を、限られた行政資源の中で町政に反映させる難しさを実感した。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p>	<p>みのや はるゆき 蓼谷 春之 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>令和3年時の目標について改めて取り組みを進めて行く。町民の方々がスポーツに親しみ、体力増進を図り、町政に対する課題について積極的に取り組む。</p> <p>スポーツ活動を通じて関係者との意見交換や交流を踏まえて、町民がスポーツに親しみ活動しやすい環境となるよう実践してきた。</p>	
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の目標</p>	<p>おばら よしおき 小原 仁興 議員</p> 
<p>令和4年(令和4年5月2日～令和5年4月30日)の評価</p>	
<p>今までの検証をしながら下川町の発展に繋がるよう提言をして、町民への説明責任を果たしていく。</p> <p>一般質問などを通じて検証していくことには効果が弱い面はあったが、下川町の発展につながるよう審議をし、議決をしたものについては町民への説明に努めてきた。</p>	

議会活動の仕組み⑦

いちじ ふさいぎ

「一事不再議」



一事不再議とは、会議原則の一つであり、一度議会で議決した同一の議題については、同一会期中においては再び審議や議決を行わないという原則です。

下川町では議会会議条例第17条でも「議会で議決された事件については、同一会期中は再び提出することができない」と規定しています。

さて、本町は令和3年から通年議会となり、会期は5月から翌年4月までとなっています。前述のとおり、一事不再議の原則により一度議決した案件は、翌年にならないと審議や議決でき

ないのでしょか。それでは支障をきたすので、議会会議条例第17条第2項で『前項に規定する一事不再議は、定例会議として再開する本会議の都度、「事情変更の原則」があつたものとみなす』と規定しています。

このことから、定例会議は6月、9月、12月、3月に開かれますが、次の定例会議になれば、同一の議題も再び審議や議決を行うことができません。

通年議会の導入にあつては、従来の取り決めにそのままではめられない場合もあり、知恵を出す必要がありました。

※事情変更の原則：議案の内容が仮に同一のもので、その背景となる事情の変化によつて、前提条件が異なっていると解される場合には、再提出して審議・議決できるもので、事情変更がある場合は、同一の定例会議内でも再び審議することができません。

議会モニターからのご意見・ご感想

議会モニターの方々から、議会活動についてご意見、ご感想を定期的にいただいております。

定例会議や、臨時会議、議会だよりについて寄せられたご意見などの一部を紹介いたします。

これらのご意見などを参考に、議会活動の活性化やよりよい議会運営につなげていきます。



質問の内容・要旨	回答
議会だよりの配布場所・閲覧場所を増やしてほしい。コモレビにお願いいただけたら助かります。	ゼロカーボンを目指す下川町議会は、紙媒体をどの程度残すかということが課題となっているため、コモレビへの議会だより設置は検討をしていきます。なお、町のホームページに電子版をアップしているため、そちらもご利用いただけると幸いです。

編集後記

3月の定例会議、予算審査特別委員会も終わり、WBCは日本が優勝し応援の甲斐があつた。やっと畑仕事に時間が割けると思えば、各種団体の総会や役員会が目白押し。外に目を向ければ、日本海では、ミサイルを発射する隣国がいる。欧米では、銀行破綻の連鎖が危ぶまれ、ゼネラルストライキも起きて不穏な春です。春といえば、日本では統一地方選挙です。次の201号は新メンバーでの議会だよりとなります。4年間大変にお世話になりました。未熟な編集でしたがご声援、ご意見をいただきありがとうございました。次号からも引き続き、皆様のご指導ご鞭撻をお願いして、後書きとしたいと思います。重ねてありがとうございます。(中田)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長 中田 豪之助
副委員長 小原 仁興
委員 我孫子 洋昌

しもかわ議会だより

第200号

2023年(令和5年)

5月1日発行

発行 北海道下川町議会
編集 議会広聴広報特別委員会
〒098-11206
上川郡下川町幸町63番地

●電話番号(代表) 4-25511
●FAX番号(代表) 4-25517
●行政情報告知端末番号(直通) 4-2551108
●E-mail s-gikai@town.shimokawa.hokkaido.jp